



選ばれるまちへ ともに歩む自治都市 すかがわ

須賀川市長 橋本克也

明けましておめでとうございます。平成30年の新春に当たり、謹んでお慶び申し上げます。

市民の皆様には、日頃から市勢伸展のため、温かいご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から間もなく7年となりますが、昨年5月には復興のシンボルである市役所新庁舎が開庁し、本市は震災からの「復興期」から「発展期」へと、新たな段階に踏み出しています。

このような中、昨年は文化や芸術、スポーツなど様々な分野で、子どもたちや市民の皆様が目覚ましい活躍をされました。未来を担う子どもたちがたくましく、夢や希望に向かって成長することは、本市の発展にとって極めて重要であり、私も大きな感動を受けたところでもあります。

さて、本年4月には稲田小・中学校が、施設一体型の小中一貫教育校「稲田学園」として開校します。児童・生徒一人ひとりの個性が輝き、生きぬく力を育む学校教育の

推進に努めてまいります。

また、新たな文化交流と市民活動の拠点となる市民交流センター「tette」（てって）は、9月末までに建設工事を完了する見通しとなり、円谷英二ミュージアムや図書館の整備などを経て、平成31年1月11日のオープンを目指しています。

さらに、日本たばこ産業株式会社から取得した茶畑町の土地は、新たな雇用が期待できる製造部門や物流部門などの立地を目指し、本市の産業拠点としての取り組みを進めているところです。

4月からは、市の将来像を展望しまとめた、第8次総合計画がスタートします。将来都市像を「選ばれるまちへ ともに歩む自治都市 すかがわ」とし、協働の理念を基本に据え、「ともに歩む自治都市」として、あらゆる人に「選ばれるまち」の実現を目指してまいりますので、引き続き、市政に対するご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

今年一年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。



市民とともに 新生須賀川市の 発展に向けて

須賀川市議会議長 佐藤 暲 二

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、市政の伸展並びに市議会の活動などに対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は須賀川市の復興のシンボルである市新庁舎が開庁し、新生須賀川市がスタートした年でありましたが、市議会においても、様々な変化の年でありました。

震災直後から6年に渡り議会活動の拠点としてきた岩瀬議場を離れ、6月1日から新議場での議会運営がスタートし、お陰様で多くの傍聴者にお越しいただいたところでもあります。

また、9月4日の臨時会では、議会内の改選が行われ、新たな体制により引き続き市政発展のため取り組んでまいります。

さて、現在、市議会では、「議長選挙の立候補制導入」や「常任委員会の在り方」について協議を進めております。議長選挙の立候補制は、議会の透明性を高める新たな取り組みであり、常任委員会の在り方については、委員会審査あるいは調査をより深

め、議論をより活発にするための見直しであり、いずれも大きな改革と捉えております。

また、昨年は議会基本条例の検討を進めるべく「議会基本条例検討特別委員会」を設置いたしました。条例の必要性も含め、議論が始まったばかりですが、今年はこうした議会における検討課題について、議会一丸となって取り組んでまいります。

東日本大震災から7年が経過し、私達の日常生活も徐々に落ち着きを取り戻していると感じておりますが、風評被害や除染土壌の搬出など、まだまだ問題も山積しております。

市議会といたしましては、引き続き市民の皆様の声に耳を傾け、「ふるさと須賀川」の発展に向け取り組んでまいります。

結びに、須賀川市の限らない繁栄と市民の皆様が今年一年健やかで幸多からんことを心より祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。



「tette」完成予想

市民交流センター「tette」(てって) 来年1月11日オープン!!

市役所ウルトラフロアから宇津峰を望む